

事業名 (箇所名)	国際物流ターミナル整備 (舞鶴港 和田地区)		担当課 担当課長名	港湾局計画課 中村 晃之	事業 主体	近畿地方整備局																																										
実施箇所	京都府舞鶴市																																															
該当基準	社会経済情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業																																															
主な事業の 諸元	岸壁(水深14m)、航路・泊地(水深14m)、ふ頭用地、緑地、臨港道路等																																															
事業期間	事業採択	平成1年度	完了	令和9年度																																												
総事業費(億円)	538	残事業費(億円)		95																																												
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・近畿圏北部を発着する外貨コンテナ貨物の輸送効率化を図る必要がある。 ・バルク貨物の輸送効率化への対応が必要である。 ・大規模地震等発災時における阪神港等の物流機能のリダンダンシー確保が必要である。 ・埠頭間連絡と幹線道路へのアクセス向上を図ることによる利便性・安全性の向上が必要となっている。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際物流ターミナルを整備することにより、近畿圏北部を発着するコンテナ貨物需要に対応する。 ・バルク貨物、完成自動車(中古自動車)、風力発電機の効率的な物流への対応。 ①近畿圏北部地域の産業競争力に資する物流拠点の形成 ②船舶大型化への対応 ③背後企業の貨物輸送の効率化 																																															
上位計画の 位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> ・社会資本整備重点計画(第4次) 重点目標4:民間投資を誘発し、経済成長を支える基盤を強化する 政策パッケージ4-2:地方圏の産業・観光投資を誘発する都市・地域づくりの推進 																																															
事業の多面的な効果	<p>■政策目標・施策目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の確保・強化。 ・施策目標:海上物流基盤の強化等総合的な物流体系整備の推進、みなとの振興、安定的な国際海上輸送の確保を推進する。 <p>■定性的・定量的な効果</p> <p><定量的な効果></p> <ol style="list-style-type: none"> ①近畿北部地域を発着するコンテナ貨物の輸送コストが削減される。 ②バルク貨物、完成自動車(中古自動車)、風力発電機の輸送効率化により輸送コストが削減される。 ③大規模災害時における阪神港等の物流機能のリダンダンシーが確保可能となる。 ④臨港道路の整備により、ふ頭間連絡と幹線道路へのアクセス向上を図ることによる利便性・安全性が向上される。 <p><定性的な効果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業の国際競争力の向上・地域産業の安定・発展・地域活力の強化 ・外航クルーズの入港による国際観光収益の増加 <p>■定量的効果のうち投資効率性</p> <p>○便益の主な根拠 輸送コスト削減 (令和10年度予想取扱貨物量:2.5万TEU/年[コンテナ貨物]、26.4万トン/年[中古自動車]、10.9万トン/年[けい砂]、2.0万トン/年[風力発電機])</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">基準年度</th> <th colspan="2">令和元年度</th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B:総便益(億円)</td> <td>1,165</td> <td>C:総費用(億円)</td> <td>1,011</td> <td>EIRR(%)</td> <td>4.7</td> <td>B-C</td> <td>154</td> <td>全体B/C</td> <td>1.15</td> </tr> <tr> <td>B:総便益(億円)</td> <td>107</td> <td>C:総費用(億円)</td> <td>78</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>継続B/C</td> <td>1.37</td> </tr> </tbody> </table> <p>(感度分析)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>事業全体のB/C</th> <th>残事業のB/C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需 要 (-10% ~ +10%)</td> <td>1.08~1.22</td> <td>1.23~1.50</td> </tr> <tr> <td>建 設 費 (+10% ~ -10%)</td> <td>1.14~1.16</td> <td>1.24~1.52</td> </tr> <tr> <td>建設期間 (+10% ~ -10%)</td> <td>1.14~1.16</td> <td>1.32~1.42</td> </tr> </tbody> </table>						基準年度		令和元年度								B:総便益(億円)	1,165	C:総費用(億円)	1,011	EIRR(%)	4.7	B-C	154	全体B/C	1.15	B:総便益(億円)	107	C:総費用(億円)	78					継続B/C	1.37		事業全体のB/C	残事業のB/C	需 要 (-10% ~ +10%)	1.08~1.22	1.23~1.50	建 設 費 (+10% ~ -10%)	1.14~1.16	1.24~1.52	建設期間 (+10% ~ -10%)	1.14~1.16	1.32~1.42
基準年度		令和元年度																																														
B:総便益(億円)	1,165	C:総費用(億円)	1,011	EIRR(%)	4.7	B-C	154	全体B/C	1.15																																							
B:総便益(億円)	107	C:総費用(億円)	78					継続B/C	1.37																																							
	事業全体のB/C	残事業のB/C																																														
需 要 (-10% ~ +10%)	1.08~1.22	1.23~1.50																																														
建 設 費 (+10% ~ -10%)	1.14~1.16	1.24~1.52																																														
建設期間 (+10% ~ -10%)	1.14~1.16	1.32~1.42																																														
社会経済情勢等の変化	特になし。																																															
主な事業の進捗状況	総事業費538億円、既投資額443億円 令和元年度末現在 事業進捗率82%																																															
主な事業の進捗の見込み	事業が順調に進んだ場合には、令和9年度末の完成を予定している。																																															
コスト縮減や代替案立案等の可能性	臨港道路発生土砂を舞鶴国際ふ頭の埋立土として有効活用することにより、有償処分と比べて処分費を削減																																															
対応方針	継続																																															
対応方針理由	効率的な事業の実施を図ることによって十分な事業の投資効果があると判断されるため。																																															
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> おおむね適切であり、対応方針(原案)のとおり「事業継続」することが妥当と判断される。																																															



舞鶴港 和田地区国際物流ターミナル整備事業

